

ともに 前に 1 歩

湯沢市 地域学校協働活動 ニュース

2 学期が始まりました！地域と共にある学校づくりをめざして

**地域→学校や子どもの力を借りたい
一緒にやりたい 一緒にやるほうがいい
学校→地域の人に依頼したい**

湯沢市教育委員会事務局

生涯学習課内(73-2163)

湯沢市 地域学校協働活動統括推進員

鎌田 功 まで

例として

1 経験してきた知識や体験を伝える(質の高い授業、豊かな体験)

- 1 行事や伝統文化、防災について地域人の目線での教示ができる。
- 2 クラブ活動や総合的な学習で「地域の技や知恵」の伝達ができる。
- 3 その土地の特色を知っている地域人と共に、「生きている学習」ができる。



2 授業や行事の事前・事後の作業を受けもつ(教師のゆとり)

- 1 田植えや畑の作業で子どもが来る前の準備ができる。(担任はゆとりがもてる)
- 2 商品開発の際の下準備ができる。(生徒の作業効率を考えた補助をする)
- 3 教師から雑務を解放することができる。



3 授業や活動の補助をする(子どもの見守り)

- 1 新1年生の入学時サポートや ICT サポートができる。(担任のお助け)
- 2 高齢者との交流会(中学校家庭科)などの企画などを手伝うことができる。
- 3 危険な学習、技能のばらつきがある学習への補助ができる。
(ミシンや工作などへの個別対応)



4 学校の校内外の学習環境を整備する(教育環境を整える)

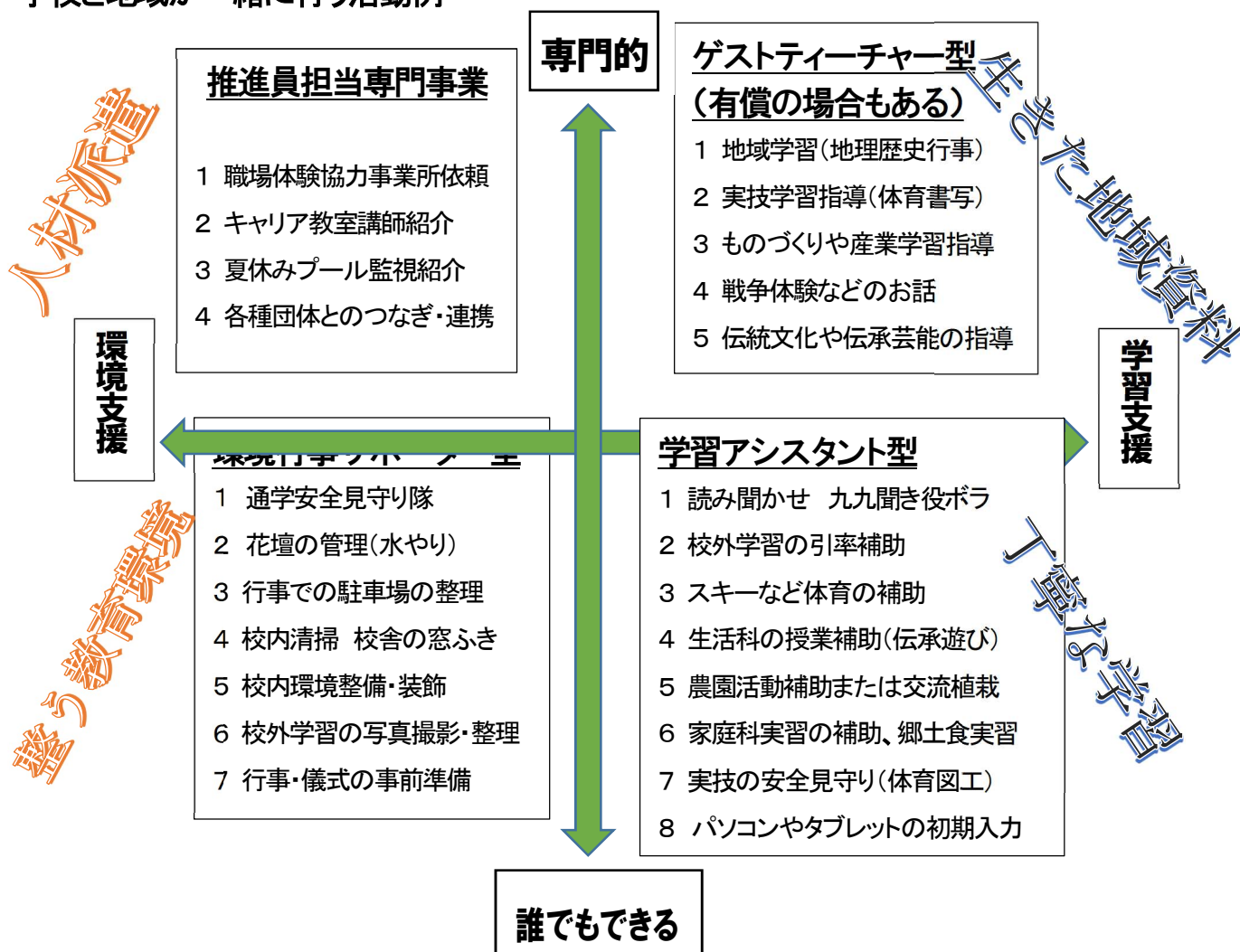
- 1 「本が好きな子どもに育てよう」という目標に向かって、図書支援員と一緒に読書環境を整えることができる。
- 2 地域の生涯学習作品を校内展示したり、児童生徒の作品を校外(地区センターなど)に展示したりして、学校をより身近に感じてもらえる。



5 地域や学校の情報を結び付ける(広がる情報や経験)

- 1 地域での活動において中学生が参加できる場の提供ができる。(双方向でのやりとり)
- 2 小学生や中学生の活躍を地域の人々へ紹介することができる。(児童生徒を目にする場面を増やす)
- 3 地域の人々の思いを学校に伝達することができる。

学校と地域が一緒に行う活動例



職場体験の新規事業所の開拓において地域の人脈を使って集めてもらい、教員の労力と時間を省くことができた。

本好きな子どもを育てるために、「読み聞かせボランティア」や、読書イベント、環境づくりにボランティアの力は大きい。とても教員だけでは時間的に無理だった。

小学校に入りたての子どもたちの学習や給食サポートなどに入ってもらい、4月の学級経営のスタートがスムーズにできた。

学校行事などで教員の手が足りないとき、本当に助かった。

見学学習や体験学習では推進員が、対外的交渉をしてくれるので、教員の負担軽減を図ることができ、集中して子どもへの指導ができた。(田植えやまちゃんけん)

校外活動では、ボランティアがいてくれたおかげで、子どもの安全管理に教員の目が行き届いた。

教員がその地域に詳しくなくても、地域をよく知っている推進員がいてくれることで、相談しながら授業づくりができる。

中学校では子どもの活動を奪ってしまうかと心配していたけど、逆に自主性を育てる活動に集中できた。



@YUZAWA_CHIIGAKKO

Instagram で湯沢市地域学校協働本部の活動を紹介しています。各学校でどんな活動をしているのか見てみてください。